



幕南学校だより

一人一人のよさを伸ばし、豊かな心を育てる

特別号

令和4年12月実施
千葉市立幕張南小学校

12月に実施をしました第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。「とてもそう思う(4点)」「少しそう思う(3点)」「あまりそう思わない(2点)」「ほとんどそう思わない(1点)」の平均点を100分率に換算しました。右側の数値は第1回(7月)からの増減です。

児童・保護者・教職員のそれぞれの項目に対する評価をもとに、子供たちにこうあってほしいという姿について、教育活動を評価・改善していくためのツールとして役立てていきたいと考えております。

令和4年度 第2回学校評価

		児童		保護者		教職員	
		今回	増減	今回	増減	今回	増減
1	「おはよう」「いただきます」等、挨拶を元気にしていますか	88	+1	82	-1	81	+4
2	「ありがとう」「ごめんなさい」等、言葉を口に出して言いますか	88	-1	84	±0	83	+7
3	困っている人や弱い立場の人にやさしく接したり助けたりしますか	81	±0	85	-1	84	+2
4	友達や家族の良いところについて言葉にして言いますか	74	-1	79	±0	72	-3
5	自分の良いところをわかっていますか	74	-1	74	-2	66	-2
6	本を読んでいますか	82	-2	71	±0	85	-2
7	学校や家庭での生活時間を守ろうとしていますか	80	-1	76	-1	75	-1
8	自分の持ち物を大切にしていますか	87	-2	71	+1	66	-4
9	自分の身の回りの整理整頓をしていますか	78	-1	60	-1	74	±0
10	人の話を聞くとき、話をしている人を見て、話を聞いていますか	82	+1	73	-1	81	+5
11	話を聞いている人に伝わるように、話をしますか	81	-1	73	-1	69	-6
12	前日に学習の準備をしていますか	85	±0	79	±0	70	-4
13	宿題をしていますか	96	±0	94	±0	88	±0
14	早寝・早起きをしていますか	77	-3	80	-1	77	-1
15	朝ご飯を食べていますか	94	+8	94	-1	89	-2
16	外で遊びますか	80	±0	79	-1	95	+14
17	けがや病気をしないように気をつけていますか	87	-3	82	-1	84	±0
18	やると決めたことは最後までやり通しますか	82	±0	77	-1	81	+2

【保護者アンケートの自由記述から】 主なご意見を紹介します。(掲載にあたり文章を変更しています)

教師について

○感受性の高い子は他の子に放った先生の言葉にも敏感に反応すると思いますので、先生方が子供たちのお手本になる態度で接して頂きたいと思います。

○先生達が率先して挨拶していただけると子どもも挨拶があたりまえの事のように思います。

○子供の声に耳を傾けて欲しい。

→子供たちの声に耳を傾け、子供たちを笑顔にできる教師を目指します。

行事等について

○学校行事が少しずつ再開されて、子供達が生き生きと嬉しそうです。幕総の看護実習やふれあいコンサート、地域のお店の交流(町探検)は、南小のすばらしいことだと思います。これからも続けて欲しいです。

○コロナ禍で色々な活動がなくなったままなので、できる事を増やしてほしい。

○コロナによる制限も緩和されつつあるため、運動会を在校生全員で検討してほしいです。

→コロナ禍での経験を生かして、今後の活動をより良くしていきたいと思います。

学校生活上の問題について

○給食が始まりましたが、開始時に必要なものがよくわかりませんでした。給食だけではなく、一年生は初めてのことは学校から案内が欲しいです。→大変申し訳ありません。お便り、連絡帳、スグー等でお知らせします。

○ランドセルがいつも重すぎるので、先生からも宿題以外の教科書など置いて帰るように子供たちに声かけをお願いしたいです。→置いていけるものは置いていくように、声かけをしています。

○お便りのペーパーレス等、今後も進めていただきたい。→考えて進めていきます。

○上着などのパーカーの着用は不可だと思うのですが、ほとんどの子がフードありを着ています。良いのかダメなのか、はっきりさせてもらえると良いと思います。→体育時は不可ですが、普段は着ても大丈夫です。

○コロナ禍でも行事等、配慮して実施して下さって有り難く思っております。また給食が再開し、あたたかくて美味しいご飯が食べられると子供たちが喜んでます。ありがとうございます。

【アンケート結果から】

1 学校評価について

学校教育目標「一人一人のよさを伸ばし、豊かな心を育てる」を受け、「やさしい子(徳)・かしこい子(知)・つよい子(体)」の育成を目指しています。「徳」が設問1~5、「知」が設問6~13、「体」が設問14~18に該当し、具体的な子供の姿をもって評価をしています。子供の自己評価、保護者と教職員によるみとりという3者で学校評価をしています。今年度は7月と12月に実施いたしました。

2 第2回学校関係者アンケート結果について

子供たち、保護者、教職員それぞれの設問に対する意識は7月実施の調査同様に概ね肯定的です。

(1) やさしい子(徳)について

設問2・3では、子供たちの自己肯定感の高まりが見られます。挨拶をする、「ありがとう」「ごめんなさい」等の言葉を口に出すなどの、基本的な言語習慣の定着が感じられます。一方で、「友達や家族の良いところについて言葉にして言いますか」「自分の良いところをわかっていますか」の項目で自己肯定感が若干低く感じられます。一人ひとりが自分には価値があると感じられるように、していきたいと思います。

(2) かしこい子(知)について

設問9「整理整頓」は、保護者が低くつけています。学校でも家庭でも整理整頓をできるように連携して声を掛けていく必要があります。設問13「宿題」は3者が高い値になっています。ご家庭でもよく見ていただいているのが分かります。

(3) つよい子(体)について

感染対策緩和の影響か、設問16での職員の数値が大幅に上昇しました。学校では、休み時間外で遊ぶ児童が増えてます。水曜日のロング昼休みには船溜跡公園を借りて、全員が外に出て校庭と船溜跡公園に学年ごとに分かれ、広く遊ぶことができるようにしています。